

BEST AVAILABLE COPY

Reference No.3

Utility Model

Public Laid-open Disclosure No.: 61-56912

Public Laid-open Disclosure Date: April 16, 1986

Title of Invention: Stacked Stick-shaped Receptacles for Cosmetics

Applicant: Hidan Seisakusho

Abstract:

The present invention relates to a stacked stick-shaped receptacles having two cosmetics which are stacked on top of each other.

It has an upper receptacle A and a lower receptacle B. The upper receptacle A has an integrally formed tubular portion 15 which opens downwardly. A resilient cap portion 16 made of a synthetic resin is provided within the tubular portion 15. The upper portion of the lower receptacle B is removably inserted into the tubular portion 15.

⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭61-56912

⑥Int.Cl.
A 45 D 40/24
B 65 D 21/02

識別記号 廃内整理番号
6671-3B
6564-3E

⑩公開 昭和61年(1986)4月16日
審査請求 未請求 (全2頁)

⑤考案の名称 二段式棒状化粧品容器

⑥実願 昭59-142098
⑦出願人 株式会社 飛弾製作所 柏市花野井627番地
⑧代理人 弁理士 松丸 国雄

⑨実用新案登録請求の範囲

回転操作機構を有する上段容器Aと下段容器Bとからなり上段容器Aの下部に下段容器Bを着脱自在に結合せしめる構成において、上段容器Aにおける袴筒1の下部に下向き開口の嵌合筒15を連設すると共に上段容器Aの前記袴筒1と一体関係を保持する蝶子棒2の下部に連設した樹脂製で柔軟性を有する下向き開口の帽体16を前記嵌合筒15の深奥部に設置し、該帽体16と嵌合筒15との間に適度の間隙17を介在せしめ、前記帽体16は上方部内側に突出する環状リブ18を有し、下部開口部16'は若干外側に開拡状態にあって前記嵌合筒15の内壁面に弾接し、更に前記環状リブ18の上部位置に前記間隙17に連通す

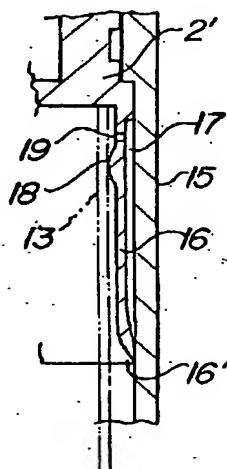
る排気孔19を備えた構造からなり、前記下段容器Bを上段容器Aの嵌合筒15に着脱自在に挿嵌し、下段容器Bの上部開口部を前記帽体16に密嵌せしめるようになることを特徴とする二段式棒状化粧品容器。

図面の簡単な説明

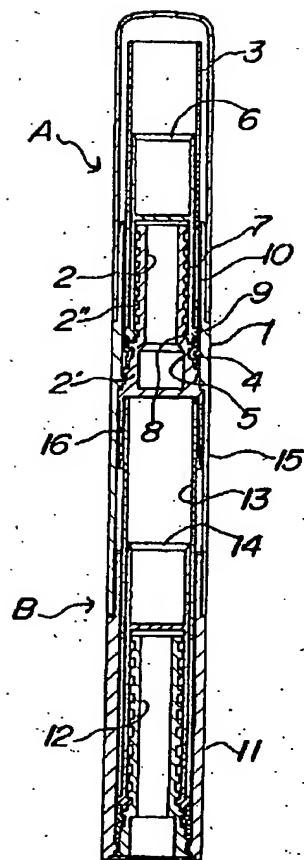
図面は本案の実施例を示すもので、第1図は本案容器の縦断面図、第2図は同一部切欠正面図、第3図は上下両容器を分離した状態における一部切欠正面図、第4図は気密構造を示す拡大断面図である。

A…上段容器、B…下段容器、1…袴筒、2…蝶子棒、15…嵌合筒、16…帽体、17…間隙、18…環状リブ、19…排気孔。

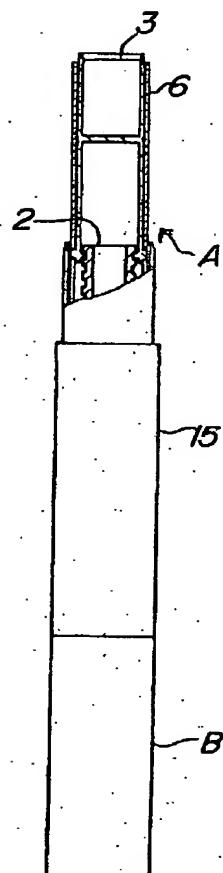
第4図



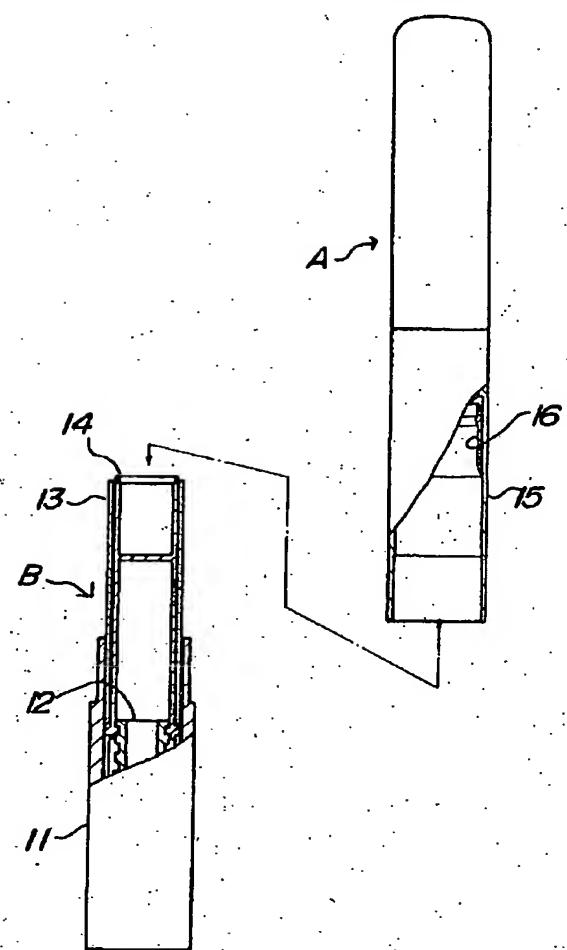
第1図



第2図



第3図



公开実用 昭和61- 56912 D3

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U)

昭61- 56912

⑬Int.CI. 1

A 45 D 40/24
B 65 D 21/02

識別記号

厅内整理番号

6671-3B
6564-3E

⑭公開 昭和61年(1986)4月16日

審査請求 未請求 (全頁)

⑮考案の名称 二段式棒状化粧品容器

⑯実 願 昭59- 142098

⑰出 願 昭59(1984)9月19日

⑲考案者 庄司 幸夫 柏市花野井627番地
⑳出願人 株式会社 飛弾製作所 柏市花野井627番地
㉑代理人 弁理士 松丸 国雄

明細書

1. 考案の名称

二段式棒状化粧品容器

2. 実用新案登録請求の範囲

回転取出機構を有する上段容器Aと下段容器Bとからなり上段容器Aの下部に下段容器Bを着脱自在に結合せしめる構成において、上段容器Aにおける椅筒1の下部に下向き開口の嵌合筒15を連設すると共に上段容器Aの前記椅筒1と一体関係を保持する蝶子棒2の下部に連設した樹脂製で柔軟性を有する下向き開口の帽体16を前記嵌合筒15の深奥部に設置し、該帽体16と嵌合筒15との間に適度の間隙17を介在せしめ、前記帽体16は上方部内側に突出する環状リブ18を有し、下部開口部16'は若干外側に開拓状態にあつて前記嵌合筒15の内壁面に弾接し、更に前記環状リブ18の上部位置に前記間隙17に連通する排気孔19を備えた構造からなり、前記下段容器Bを上段容器Aの嵌合筒15に着脱自在に挿嵌し、下段容器

(1)

代理人

実開61-56912

Bの上部開口部を前記帽体16に密接せしめるようになることを特徴とする二段式棒状化粧品容器。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本案は化粧料を上下二段に組込むようにした二段式棒状化粧品容器に関するものである。

従来の技術及び考案が解決しようとする問題点

棒状化粧品を上下二段に組込み可能にした容器は従来周知であるが、本案は上段容器に例えば普通の棒状口紅を、下段容器に揮発性の棒状化粧品を装填するようになし、しかも揮発性化粧料の乾燥固化を防止するために下段容器を気密構造にした点に特徴を有するものである。

問題点を解決するための手段

本案は前記の目的を達成する手段として上段容器の下部に下段容器のキャップ機能を司る筒体を延設し、この筒体内に下段容器が密接して内部の気密を保持する帽体を設置したものであ

上段

つて、回転録出機構を有する上段容器Aと下段容器Bとからなり上段容器Aの下部に下段容器Bを着脱自在に結合せしめる構成において、上段容器Aにおける薦筒1の下部に下向き開口の嵌合筒15を連設すると共に上段容器Aの前記薦筒1と一体関係を保持する螺旋2の下部に連設した樹脂製で柔軟性を有する下向き開口の帽体16を前記嵌合筒15の深奥部に設置し、該帽体16と嵌合筒15との間に適度の間隙17を介在せしめ、前記帽体16は上方部内側に突出する環状リブ18を有し、下部開口部16'は若干外側に開拓状態にあつて前記嵌合筒15の内壁面に弾接し、更に前記環状リブ18の上部位置に前記間隙17に連通する排気孔19を備えた構造からなり、前記下段容器Bを上段容器Aの嵌合筒15に着脱自在に挿嵌し、下段容器Bの上部開口部を前記帽体16に密嵌せしめるようになる構成を要旨とするものである。

実施例

以下本発明の実施例を図面に示す実施例について

(3)

て説明すると、Aは上段容器、Bは下段容器を示すもので、両容器A、Bはいずれも回転送出機構によつて化粧品を上下動せしめるものである。而して上段容器Aは、外側の筒1と内部の螺旋棒2は該螺旋棒2の基台2'部分が筒1の内側に固定されて両者の一体関係が保障され、筒1と螺旋棒2は一体的に回転し、この筒1と螺旋棒2の間に身筒3を挿入して該身筒3の下部に内突せしめた環状凸起4を前記基台2'の環状溝5に係合すると共に身筒3内に収納した化粧品皿6は下部に脚筒7を有し、この脚筒7を前記螺旋棒2に被嵌せしめ、脚筒7の下部内側に突設したピン8を螺旋棒2の螺旋溝2"に係合し、且つ脚筒7の下部外側に突設したピン9を前記身筒3に穿設した縦孔10に係合せしめ、筒1によつて螺旋棒2を回転せしめることにより化粧品皿6が上下動するものである。尙下段容器Bの筒11、螺旋棒12、身筒13、化粧品皿14はいずれも上段容器Aのものと全く同じ構造からなるものである。

而して上段容器Aに梅箇1の下部に下向き開口で長寸の嵌合箇15を一体的に形成し、又螺子棒2の基台2'の下部に樹脂製で柔軟性を有する下向き開口の帽体16を一体成形し、この帽体16を前記嵌合箇15の深奥部に設置すると共に嵌合箇15と帽体16の間に若干の間隙17を介在せしめ、そして帽体16は上部内側に環状リブ18を有し、下部開口部16'は若干開拓状態を呈して嵌合箇15の内壁面に弾接し、且つ前記環状リブ18の上方位置に間隙17に連通する排気孔19を穿設してあり、嵌合箇15に着脱自在に挿嵌した下段容器Bは身筒13の上部が前記帽体16に密嵌するものである。

考案の作用、効果

本案は、如く、回転練出機構を有する上段容器Aと下段容器Bとからなり上段容器Aの下部に下段容器Bを着脱自在に結合せしめる構成において、上段容器Aにおける梅箇1の下部に下向き開口の嵌合箇15を連設すると共に上

段容器Aの前記筒1と一体關係を保持する螺子棒2の下部に連設した樹脂製で柔軟性を有する下向き開口の帽体16を前記嵌合筒15の深奥部に設置し、該帽体16と嵌合筒15との間に適度の間隙17を介在せしめ、前記帽体16は上方部内側に突出する環状リブ18を有し、下部開口部16'は若干外側に開拓状態にあつて前記嵌合筒15の内壁面に弾接し、更に前記環状リブ18の上部位置に前記間隙17に連通する排気孔19を備えた構造からなり、前記下段容器Bを上段容器Aの嵌合筒15に着脱自在に伸嵌し、下段容器Bの上部開口部を前記帽体16に密嵌せしめるようになる構成に係り、上段容器Aの嵌合筒15に下段容器Bを伸嵌すると帽体16内の空気は下段容器Bの圧迫により排気孔19から間隙17に移行し、さらに嵌合筒15の内壁面に弾接している帽体16の開口部16'を押し開けて外部に排出され、しかも排出後において帽体16の開口部16'はその弾力性により再び嵌合筒15の内壁面に弾接し

、且つ坂状リブ 18 が下段容器 B の身筒 13 の外周面に密着して外気の侵入を遮断し、下段容器 B 内の気密性を保持し、揮発性化粧料の乾燥固化を防止する効果が得られ、また下段容器 B の挿入によつて帽体 16 内の空気は前記の如く排気孔 19 を介して外部に順次排出されるもので、下段容器 B の嵌入に際して空気抵抗が全く感ぜられず、下段容器 B の嵌入がらくにできる等の利点を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示すもので、第 1 図は本発明容器の縦断面図、第 2 図は同一部切欠正面図、第 3 図は上下両容器を分離した状態における一部切欠正面図、第 4 図は気密構造を示す拡大断面図である。

A … 上段容器、B … 下段容器、1 … 身筒、2 … 素子棒、15 … 嵌合部、16 … 帽体、17 … 間隙、18 … 坂状リブ、19 … 排気孔。

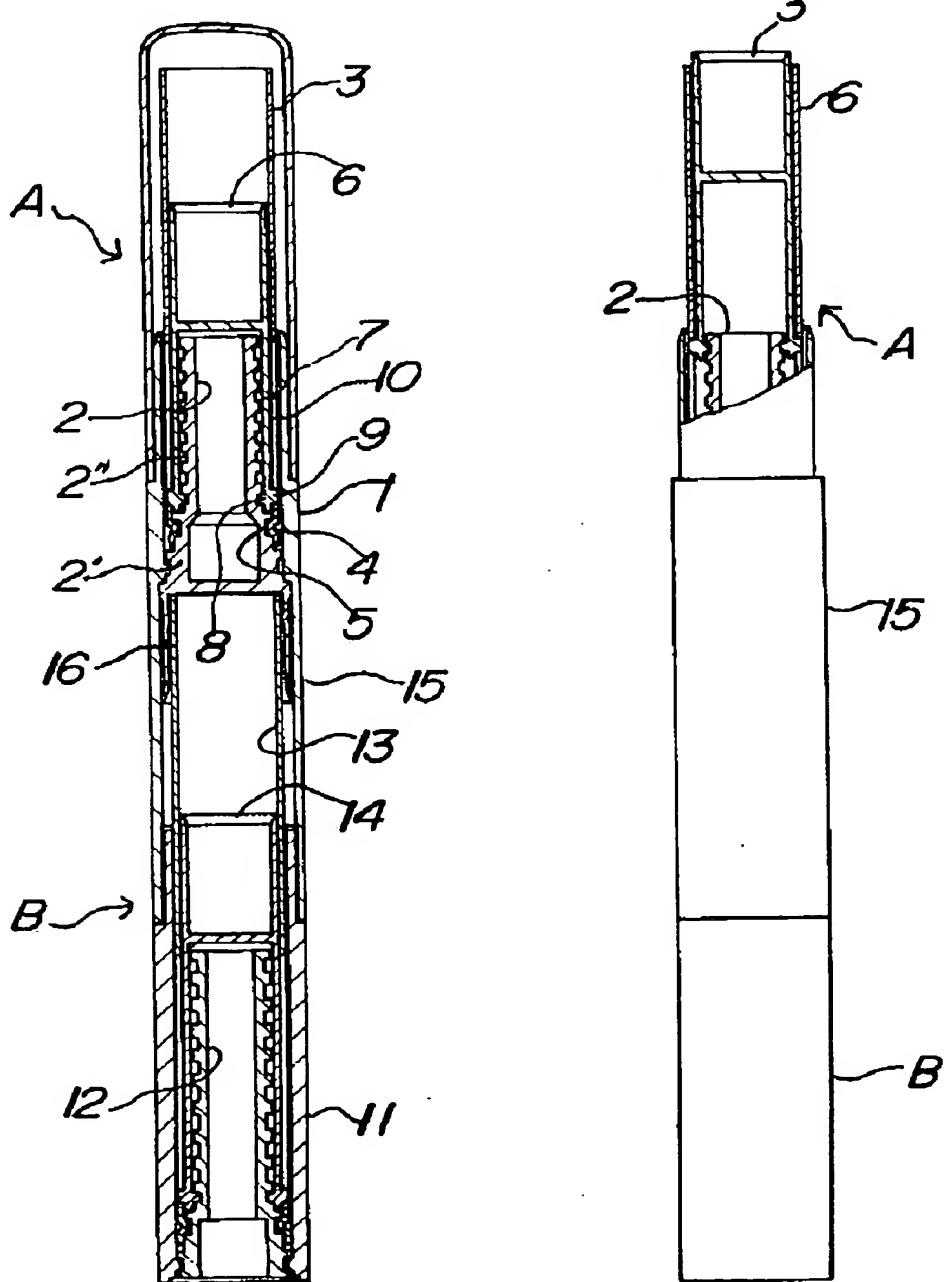
代理人、弁理士 松丸国雄

(7)



第1図

第2図

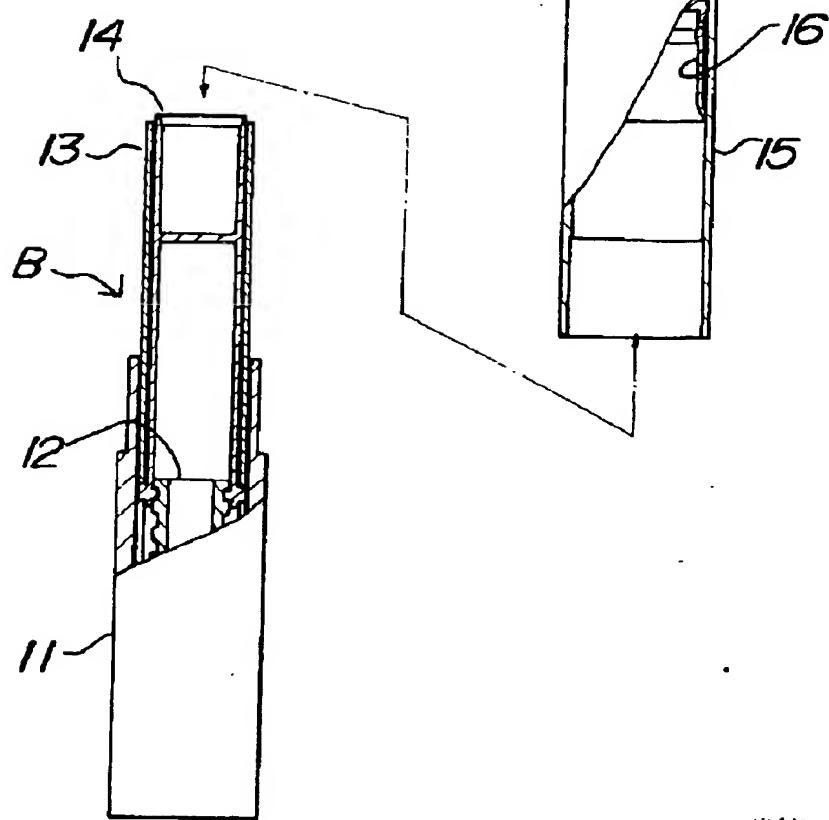


126

代理人、弁理士 松丸国雄

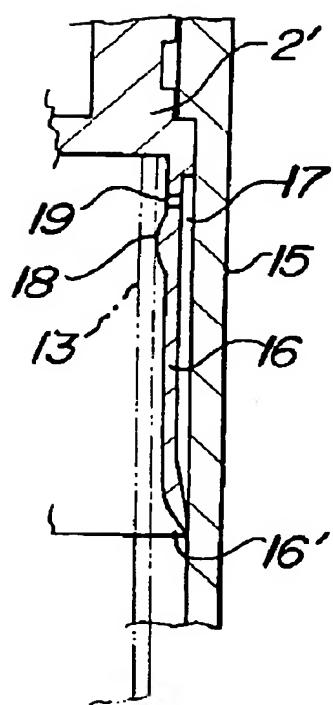


第 3 図



A … 上段容器
B … 下段容器
1 … 柄筒
2 … 螺子棒
15 … 嵌合筒
16 … 帽体
17 … 間隙
18 … 環状リブ
19 … 排気孔

第 4 図



代理人、弁理士 松丸国雄

特許出願
代理人
松丸国雄

61-56912

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.